

平成19年度

第11回 視聴覚教育総合全国大会

第58回 放送教育研究会全国大会

合同大会（東京大会）

大会テーマ

「ネットワーク社会におけるメディアとヒューマンコミュニケーション」

主催	全国放送教育研究会連盟、NHK 視聴覚教育総合全国大会連絡協議会 日本学校視聴覚教育連盟、全国視聴覚教育連盟、全国高等学校メディア教育研究協議会 (財)日本視聴覚教育協会 / (財)松下教育研究財団
日程	平成19年10月26日(金)・27日(土)
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

全国大会のおさそい

「創造」とは、この世になかった新しいものを生み出すことではなく、既にあるものをたんねんに収集し整理して、世にアピールできる組み合わせ、組み立てを考え出すことである、という。

今回、初めて実現する「視聴覚教育総合全国大会」と「放送教育研究会全国大会」の同一会場、同期日、同日程による全国大会合同開催は、この意味で「創造」という言葉がふさわしいと言ってよいだろう。

今回の全国大会の各研究会では、これまでの実践を報告しあうとともに、これからの在り方も検討され、その一つ一つが次の活動や研究に向けての基礎となっていく。考古学者が土器の一片を組み合わせ、思考を組み立てながら全体の形や時代、文化・生活を捉えたように、研究分科会の発表内容や一つ一つの活動が合同全国大会の全体を捉える貴重な情報源となる。

機会と場を生かした積極的な情報の交流と人の交流が行われ、新しい組み立て、組み合わせによる「創造」が生まれることを期待している。

また、今回は「ネットワーク社会におけるメディアとヒューマンコミュニケーション」を共通主題に、全国大会を行う。政府の「IT新改革戦略」（平成18年1月）には教育の情報化に関して、大きく二つの目標があげられている。

一つはICT環境の整備や指導力の向上等の“学校教育の情報化の一層の推進”であり、一つは情報モラル教育の推進である“情報化の影の部分への対応”である。

このように変革を促すメディアの進展は新しい課題の解決と、問題への対応を生み出している。変わりつつある体験の質、より大切な人間関係を築く力を見つめ直し、人と人との出会いから生まれる相互に学び合うこと、認め合うということの大切さを改めて受け止め、これからの視聴覚教育・放送教育を考えていきたい。

視聴覚教育総合全国大会連絡協議会事務局長 井上 文敏
全国放送教育研究会連盟事務局長 守屋 貞紀

大会日程

10月26日(金)

12:30 13:00 13:20 14:35 15:00 17:15 18:00

受付	開会 行事	記念講演	表彰式	休 憩	地デジの教育活用 シンポジウム	展示研究会 (各団体理事会)	懇親会
カルチャー棟 小ホール						(理事会はセンター棟)	国際交流棟 1F

視聴覚教材・教具 展示研究会

10月27日(土)

放送教育 P5~P7

9:00 9:30 10:20 12:00 13:20 15:30 16:30 18:00

受付	開会 行事	ポスターセッション	昼食 展示研究会	課題別・番組別研究交流会	閉会 行事	展示研究会 (抽選会)
カルチャー棟 小ホール	カルチャー棟 小ホールホワイエ			センター棟 4F	センター棟 402	カルチャー棟 展示コーナー

視聴覚教材・教具 展示研究会

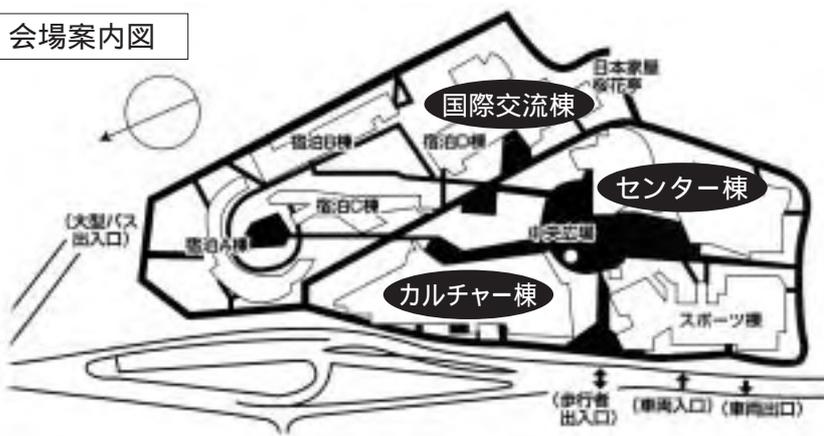
視聴覚教育 P8~P10

9:00 9:30 12:00 13:20 16:30 18:00

受付	パネルディスカッション	昼食 展示研究会	団体別分科会	展示研究会 (抽選会)
	センター棟 501		センター棟 3・4・5F	カルチャー棟 展示コーナー

視聴覚教材・教具 展示研究会

会場案内図



懇親会
10月26日(金)18時~
国際交流棟 1階にて

昼食
各自センター棟 2階カフ
ェテリアまたはカルチャ
ー棟 2階レストランにて

1 日目

全体会

カルチャー棟 小ホール

開会行事.....13:00

主催者挨拶・来賓挨拶

視聴覚教育総合全国大会連絡協議会会長
日本放送協会 専務理事 放送総局長
文部科学大臣祝辞

井内慶次郎
原田 豊彦

記念講演 山田洋次監督.....13:20



「映画という集団創作」

山田洋次（やまだようじ）監督

1931年 大阪生まれ。幼少時を中国東北部（旧満州）で過ごし、1947年に日本に引き揚げる。1955年 松竹大船撮影所に入社。以後、2000年にこの撮影所が歴史を閉じるその年まで、この場所で映画を製作する。

主な作品として『男はつらいよ』シリーズの他、『馬鹿まるだし』『家族』『故郷』『幸福の黄色いハンカチ』『息子』『学校』シリーズ、藤沢周平原作の時代劇『たそがれ清兵衛』第76回米國アカデミー賞外国語映画賞ノミネート『隠し剣 鬼の爪』『武士の一分』がある。最新作は、吉永小百合主演の『母べえ（かあべえ）』（2008年1月26日公開）。

表彰式.....14:35

各団体別表彰

シンポジウム 地デジの教育活用に関するパネル討議等.....15:00

テーマ 「2011年 テレビ放送のデジタル化で授業はどう変わるか？」

文部科学省 事業説明

椿 泰文（文部科学省生涯学習政策局参事官）

パネリスト

生田 孝至（新潟大学人文社会・教育科学学系長） 地上デジタルテレビ放送の教育活用促進事業企画委員会主査
平沢 茂（文教大学教育学部教授） 視聴覚教育総合全国大会連絡協議会指導者代表
木原 俊行（大阪教育大学教授） 全国放送教育研究会連盟指導者代表

事例発表

千葉県船橋市CDT研究協議会
富山地域デジタルテレビ教育利用研究協議会
デモンストレーション
NHK、日本視聴覚教具連合会

懇親会.....18:00

国際交流棟1F
（P11参照）

2日目 放送教育 ポスターセッション

開会行事.....9:30～10:20 カルチャー棟 小ホール

開会あいさつ / オリエンテーション / 基調提案等

ポスターセッション.....10:20～12:00 カルチャー棟 小ホールホワイエ

「幼稚園・保育所番組」「学校放送番組（小学校・中学校・高等学校・特別支援教育）」のすべての番組を対象として、全国から27の実践がポスターによって発表されます。放送番組活用のねらい、番組を活用した学習の流れ、番組活用によって子どもたちが生き生きと学習している姿、成果などを是非ご覧ください。これまで放送教育を実践されていた方、放送番組を活用した教育に興味のある方、情報教育に取り組んでいらっしゃる方など、気楽にご参加ください。

前後半各40分の2交替で行います。

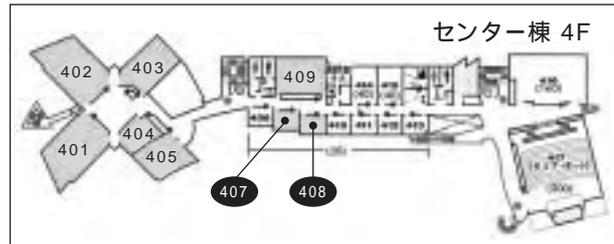
参加者のみなさんに優秀なポスターを投票で選んでいただきます。評価の観点は当日お知らせします。なお、投票によって選ばれたポスターは午後の全体会で表彰します。



No	番組名	発表者	所属園・校
1	おはなしでこいわたしのきもち おかあさんといっしょ	野崎 久子	岡山県久米郡美咲町旭保育園
2	おはなしのくに	浅香 一世	大阪府高槻市立阿武山小学校
3	おはなしのくに	若林亜希子	東京都三鷹市立第三小学校
4	わかる国語 読み書きのツボ3・4年	北村 義人	宮崎県宮崎市立住吉小学校
5	わかる国語 読み書きのツボ5・6年	大室 健司	埼玉県さいたま市立蓮沼小学校
6	わかる国語 読み書きのツボ5・6年	金原健太郎	奈良県生駒市立生駒小学校
7	わかる国語 読み書きのツボ5・6年	田端 芳恵	東京都目黒区立田道小学校
8	わかる国語 読み書きのツボ5・6年	水野 宗市	宮崎県宮崎市立池内小学校
9	わかる国語 読み書きのツボ5・6年 マテマティカ2	愛甲 昌弘	広島県三次市立三和小学校
10	わかる国語 読み書きのツボ5・6年 えいごでしゃべらないとJr. えいごリアン	熊谷 久恵	宮城県気仙沼市立鹿折小学校
11	かんじるさんすう1、2、3!	竹下 佳余	東京都千代田区立九段小学校
12	日本とことん見聞録	草柳 譲治	神奈川県川崎市立夢見ヶ崎小学校
13	にんげん日本史	佐野 工	宮崎県清武市立清武小学校
14	しらべてゴー! ふしぎだいすき	宮崎 靖	富山県小矢部市立石動小学校
15	ふしぎだいすき	谷口 義昌	鳥取県鳥取市立醇風小学校
16	ふしぎだいすき	細見 隆昭	兵庫県丹波市立西小学校
17	ふしぎワールド	根井 光洋	神奈川県川崎市立日吉小学校
18	ふしぎワールド	山脇 隆史	鳥取県鳥取市明倫小学校
19	ふしぎ情報局	佐藤 拓	神奈川県川崎市立久本小学校
20	ど～する?地球のあした	高野 健一	神奈川県横浜市立日限山小学校
21	おこめ	片岡 義順	神奈川県川崎市立岡上小学校
22	みんな生きている	金子 実	神奈川県横浜市立上大岡小学校
23	道徳ドキュメント	松川 厚雄	東京都杉並区立荻窪小学校
24	みてハッスル きいてハッスル	圓子 靖子	青森県階上町立小舟渡小学校
25	みてハッスル きいてハッスル	桜井 淳宏	大阪府守口市立八雲小学校
26	10min.ボックス 情報	米田 謙三	大阪府私立羽衣学園高等学校
27	NHK学校放送番組の紹介	武田 一則	NHK学校放送番組部

2日目 放送教育 課題別・番組別研究交流会

課題別・番組別研究交流会.....13:20 ~ 15:20 センター棟 4階



心を育てる

浅井 和行 (京都教育大学)
堀田 博史 (園田学園女子大学)

取り上げる2つの番組は、「こころ」という共通のキーワードがあります。命の尊さを感じ取る「みんな生きている」、自然の不思議の中で命の誕生を見る「しぜんとあそぼ」です。子どもの心の育ちを願う教師が、番組視聴を通じた子どもの姿から、新たな発見をしていきます。どのような発見があるのでしょうか？当日をお楽しみに！
また、浅井・堀田が、小学校と幼・保の実践発表を、立場を変えてコメントするのも見所のひとつです。ぜひ多くの先生方の参加をお待ちしています。

発表者：衛藤 由季 (福岡県 学校法人玄海学園貝塚幼稚園) 活用番組：「しぜんとあそぼ」
発表者：塚崎 典子 (さいたま市立大宮東小学校) 活用番組：「みんな生きている」

考える力を育てる

草柳譲治 (全放連学力向上プロジェクト委員会)

子どもたちに「考える力」を育てる手立てをみなさんは日頃どのようにしているのでしょうか。本分科会では、算数を切り口に、そのことを参加された方々と共に考えていきたいと思えます。
ワークショップ形式を基本に、発足3年目となる全放連の研究プロジェクト「学力向上プロジェクト」での実践を絡め、学校放送番組と「考える力」の多様な接点を見つけていきたいと思えます。

発表者：竹下 佳余 (千代田区立九段小学校) 活用番組：「かんじるさんすう1、2、3！」

考える力を育てる

堀田 龍也 (メディア教育開発センター)
稲垣 忠 (東北学院大学)

「考える力」を伸ばす番組活用のポイントは何でしょうか。本分科会では、社会科、理科、環境教育の取り組みを紹介します。他地域の生活や自然、教室では難しい実験や特殊撮影など、映像は豊かな「考えるタネ」を見せてくれます。こうした映像をどう読み解いていくのか、子どもたち自身の体験、思考と深く結びつけるための手だては何か。参加される皆さんといっしょに考えます。

発表者：渡邊 光浩 (宮崎県三股町立勝岡小学校) 活用番組：「日本とことん見聞録」
発表者：熊谷 久恵 (気仙沼市立鹿折小学校) 活用番組：「ど～する？地球のあした」「ふしぎワールド」

ことばの力をつける

前田 康裕 (熊本市立飽田東小学校)

今日、子どもたちの「ことばの力」を高めることが大きな課題となっています。しかし、普段の国語科の授業の中で、その力を向上させていくことは難しいものです。

「わかる国語 読み書きのツボ」は、「ことばの力」を焦点化してスキルアップをねらった番組であり、大きな効果が期待できます。そこで、この部会では、番組を活用した実践レポートを元にして、授業における具体的な学習活動をワークショップ形式で考えていきます。

発表者：金井 義明 (熊本市立城東小学校) 活用番組：「わかる国語 読み書きのツボ5・6年」
発表者：金原健太郎 (生駒市立生駒小学校) 活用番組：「わかる国語 読み書きのツボ5・6年」

2 日目 放送教育 課題別・番組別研究交流会

キャリア教育の充実に向けて

藤川 大祐（千葉大学）
中橋 雄（福山大学）

児童・生徒の職業観・勤労観を育て主体的に進路を選択できるようにする教育である「キャリア教育」が、近年ますます求められるようになっていきます。キャリア教育では、地域での職場体験学習等の直接的な体験が重要と言えますが、さまざまな職業や生き方についての知識を得ることも必要であり、放送番組を適切に活用することが求められます。本交流会においては、NHK「あしたをつかめ～平成若者仕事図鑑～」を中心に、キャリア教育の充実に向けて放送番組をどのように活用すればよいかについて交流します。

発表者：高倉 誠（東京都 昭和第一学園高等学校）/ 杉岡 道夫（都立一橋高等学校）
活用番組：「あしたをつかめ～平成若者仕事図鑑～」
中学校の実践者による発表も予定しております。

特別支援教育の充実と拡がりに向けて

坂田 紀行（前全放連副理事長）

今年度から、盲・聾・養護学校が学校制度として特別支援学校という名称になり、幼稚園、小中高等学校との連携が、より一層深まる時代に入りました。課題別・番組交流会ではこの現状を理解して特別支援教育における放送教育をどのように推進していくか、番組視聴や参加者の実践報告を中心にしながら討議します。又、番組制作者との交流を深め、特別支援学校だけでなく、幼稚園、小中高等学校の先生方の参加も得て、幅広い研究交流を進めていきます。

発表者：安井 政樹（室蘭市立絵鞆小学校） 活用番組：「みてハッスル きいてハッスル」

コミュニケーションスキルを育てる

トム・マーナー（麗澤大学非常勤講師）
西山 光弘（NHK学校教育番組部）

小学校への英語教育必修化が検討されている昨今、実際にどのような授業を行っていけばよいのか、学校現場には戸惑いも広がっています。今回はNHKで放送している二つのタイプの番組「えいごリアン」シリーズと、「えいごでしゃべらないと」r.」の二つの番組の実践を取り上げます。コミュニケーション能力を育てるために、メディアをどのように活用すればよいのかが、テーマとなります。

発表者：宮田 学（岸和田市立常盤小学校） 活用番組：「えいごリアン」
発表者：中井 厚子（京都市立唐橋小学校） 活用番組：「えいごでしゃべらないと」r.」

「日本語の乱れを叱る」 「金子みすずを読む」

「日本語の乱れを叱る」 飯窪 長彦（元NHKアナウンサー）

日本語の読み方のバラエティー番組で読めないタレントさんに腹を抱えて笑っているうちにだんだん寂しい気持ちになってきました。漢字が読めないとは意味がわからない、そしてそれについて考えられない人間が増えていることです。私の年齢ぐらいは知らないことは恥だという考え方です。恥ずかしいことなのです。だからそっと調べたり、聞いたりしたものです。タレントさんの中には知らないこともキャラクター（キャラ）の一部と知っているようです。自分の国の文化、歴史を語るとき、考えるときは自分の国のことばでします。ことばを大切にしましょう。

「金子みすずを読む」 久保田昌子（元港区立麻布小学校）

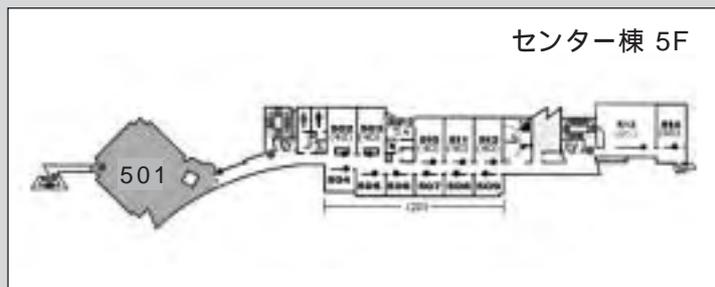
「金子みすず」の詩は沢山のひと々に愛され慕われて口ずさまれております。私も、その中の一人なのです。最初の衝撃は「大漁」との出会いです。頭の電池が一瞬切れました。えっ、なに、戦中戦後の食糧難を生きてきた子ども時代のさがでしょう「大漁! でよかったねー」と、でも違うのです。お魚の世界に心を泳がせるはめになります。朗読ことばあそび倶楽部（武蔵野市土曜学校）の子どもも、朗読サークルの大人も誰もが「金子みすず」の詩をこよなく愛して自分の読みに浸っているのです。気づかなかった向こう側のひと（人の気持ち、様子、情景）に心がひかれます。

閉会行事.....15:30～16:30 センター棟 402

講 評 / 表 彰 / 大会のまとめ

2日目 視聴覚教育 パネルディスカッション

パネルディスカッション.....9:30～12:00 センター棟 501



テーマ ネットワーク社会の進展をふまえた「教育の情報化」と視聴覚教育
改正「教育基本法」をふまえて

コーディネーター

筑波大学名誉教授、八洲学園大学教授、中央教育審議会委員

山本 恒夫

パネリスト

(視聴覚教育関係代表)

新潟大学人文社会・教育科学学系長、日本教育メディア学会会長

生田 孝至

(社会教育関係代表)

財団法人全日本社会教育連合会常務理事

加藤 雅晴

(教材機器提供者代表)

株式会社内田洋行取締役常務教育システム事業部長、教育総合研究所長

大久保 昇

ネットワーク社会は我々の予想を超える速さで進展している。光と陰の部分への速やかな対応が強く求められている。同時に、対応の柱として「教育の情報化」という視点が国策として大きく浮上し、ネットワーク環境の整備、ICT活用能力の向上、教育用コンテンツの充実、情報モラルへの対応などの普及促進が強く求められている。

しかしながら、こうした現状に対してここ数年、やや対処療法的な対応が中心という現場の実態がある。では、何が必要かと言えば、基本に帰る、あるいは現状に対する基本的な対応の仕方を改めて学んでいく必要がある。

そこで、昨年12月に改正された「教育基本法」そこに盛り込まれた考え方をふまえ、ネットワーク社会の進展に対応しながら、学校教育や社会教育の場において、視聴覚教育をどのように活かしていったらよいのか、今後のビジョンを有識者の方々にお聞きし、フロアからの質疑も含めて、議論を深めていこうと考えている。

参考

改正教育基本法と「視聴覚教育」との関連

第1条(教育の目的) 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び国家の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。

第2条(教育の目標) 一、幅広い知識と教養を身に付け、.....

二、.....創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、.....

三、.....公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、.....

第3条(生涯学習の理念).....その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において.....

第5条(義務教育) 2 義務教育として行われる普通教育は、各個人の能力を伸ばしつつ.....

第6条(学校教育) 2自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して.....

第10条(家庭教育)保護者に対する学習の機会及び情報の提供.....

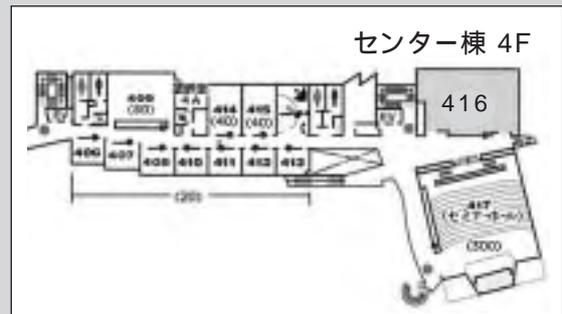
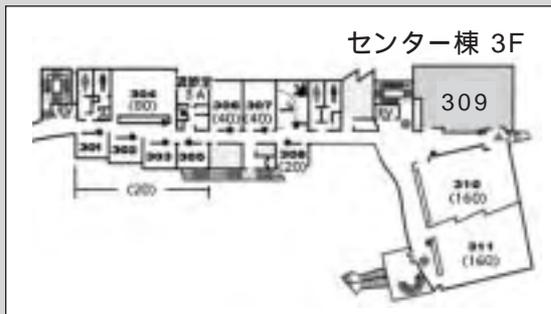
第12条(社会教育) 個人の要望や社会の要請にこたえ、.....

.....学習の機会及び情報の提供.....

第13条(学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力) 学校、家庭及び地域住民その他の関係者は教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。

2日目 視聴覚教育 学視連 分科会

学視連 分科会.....13:20 ~ 16:30 センター棟 3F・4F



学視連分科会 1

学習・保育活動にICT、教育メディアを積極的に活用している実践事例
 教育の情報化という国策としての視点を生かし、学習・保育活動における児童・生徒の理解を深めるために、メディアやコンテンツを積極的に活用している実践事例を提案する中で、ICTの積極的活用・促進の視点で協議を深める。

提案者 1	東京都品川区立二葉幼稚園 教諭 大沢 洋美	絵本の楽しみを広げるサウンドストーリー 幼稚園教育におけるマルチメディア教材の活用
提案者 2	東京都足立区立皿沼小学校 教諭 内田 忠康	コンピュータによる機械制御を活用した実践事例 クラブ活動における活用を中心にした継続実践
提案者 3	愛知県岡崎市立藤川小学校 教諭 本田 辰美	さまざまな教育メディアを活用した実践 6年総合学習、5年国語学習から
講 師	お茶の水女子大学教授 坂元 章 先生	司 会 者 東京都小学校視聴覚教育研究会

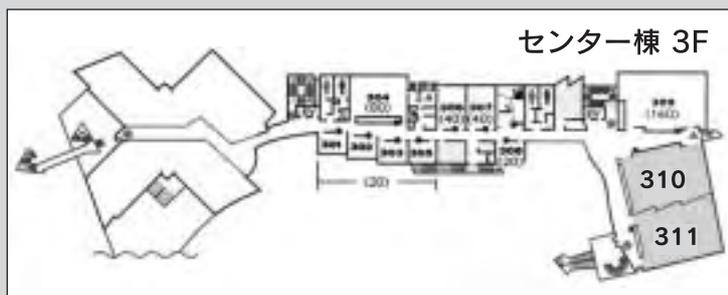
学視連分科会 2

ネットワーク環境の活用及び情報モラル等への積極的活用実践例
 ネットワーク社会の進展に伴う光と陰に焦点を当て、ネットワーク環境を積極的に指導に生かしたり、情報モラルの現状への積極的な対応を人とかかわりから追究している実践事例を提案する中で、今後の活用の可能性について協議する。

提案者 1	東京都港区立神心小学校 教諭 山内日登志	小学校における携帯電話やインターネットでの安全な情報の取捨選択及び適切な情報発信の仕方を習得する学習の実践
提案者 2	愛知県岡崎市立井田小学校 教諭 内田 雅之	教育ネットワークを利用した6年総合学習における「バーチャル模造紙」の積極的利用 小中間交流を通して
提案者 3	神奈川県川崎市立荻宿小学校 教諭 山口 嘉徳	ネットワークを活用した指導実践 サーバー蓄積型コンテンツを活用した実践事例
説 明	日本学校視聴覚教育連盟	教室の情報化を目指す機器システムの開発とネットワーク動画コンテンツを活用した実践の仕組み 広域研究ネットワークの構築と実践の共有化
講 師	関西大学総合情報学部 教授 黒上 晴夫 先生	司 会 者 東京都小学校視聴覚教育研究会

2日目 視聴覚教育 全視連・全国メディア研(高校)一分科会

全視連一分科会.....13:20~ 16:30 センター棟 3F



分科会①

「視聴覚教育施設におけるメディアサービス事業」

全国公立視聴覚センター連絡協議会研修と併催。

- 助言者・吉田 広毅 (常葉学園大学講師)
佐野 治之 (名古屋市教育センター情報教育部室長)
司会者・中村 祥一 (千葉県総合教育センターカリキュラム開発部メディア教育班)
発表者・「郷土画像・映像資料収集、保存、活用について」
竹内 哲夫 (宮城県登米市視聴覚センター所長)
発表者・「春日部市視聴覚センターの研修事業について」
中台 正弘 (春日部市視聴覚センター主査)

分科会②

「地域活性化とメディアボランティア活動」

利用にスタンスをおいた、ICTボランティア、メディアボランティア等の活動事例の発表。

- 助言者・坂井 知志 (常磐大学大学院教授)
原田 成夫 (北村山視聴覚教育センター所長補佐)
司会者・村上 長彦 (足立区教育委員会青少年センター青少年事業係長)
発表者・「ITボランティア『iの手』」について
財津 敏郎 (大分県「ITボランティア『iの手』前代表」)
安東 勝範 (大分市情報学習センター指導主事)
発表者・「視聴覚ボランティア『メディアバンクみるわーく』について」
渋谷 隆 (秋田県「メディアバンクみるわーく会長」)

全国メディア研(高校)一分科会.....13:20~ 16:30 センター棟 5F

実践報告 113:20~15:00

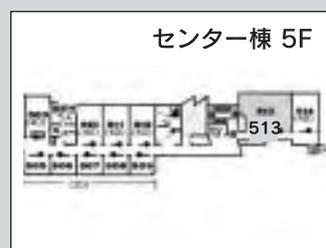
都立砂川高校の教育活動報告

東京都教育委員会のインターネットを利用する「トライネットスクール」事業。
昼夜3部定時制と通信制を併置するIT推進校の、国語と英語の実践。

実践報告 215:10~16:30

都立墨田川高校の実践報告

東京海洋大学と連携する生物の授業。
海洋大実験室の顕微鏡をインターネットを通じリモート操作し、魚の組織を
観察する。
他にiPodを利用した教材提示について。



会場案内図

◆国立オリンピック記念青少年総合センター 周辺地図



独立行政法人
国立オリンピック記念青少年総合センター
 〒151-0052
 東京都渋谷区代々木神園町3-1
 TEL:03-3467-7201 (代表)

- 懇親会
 10月26日(金) 18時～
 国際交流棟 1階にて
- 昼食
 各自センター棟 2階カフェテリアまたはカルチャー棟 2階レストランにて

会場へのアクセス (交通機関)

最寄り駅
 小田急線 参宮橋駅より 徒歩約7分
 東京メトロ千代田線 代々木公園駅より (代々木公園方面出口)
 徒歩約10分

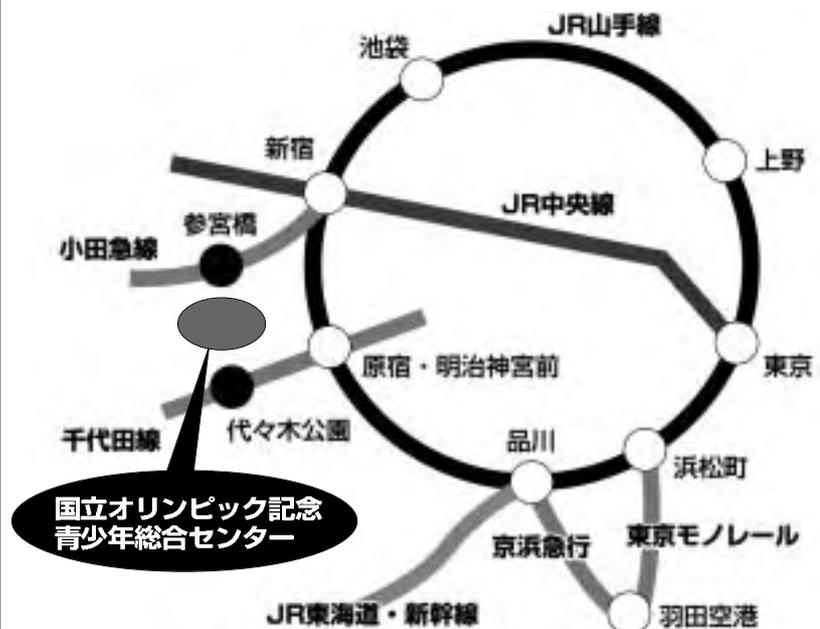
.....

東京駅・上野駅・品川駅など山手線各駅から山手線または中央線で新宿駅のりかえ
 小田急線で 新宿駅より2駅目
 山手線 原宿駅のりかえ
 東京メトロで 明治神宮前駅より1駅目

.....

羽田空港から
 東京モノレールで 浜松町駅のりかえ
 JR山手線で新宿または原宿駅へ
 京浜急行で 品川駅のりかえ
 JR山手線で 新宿または原宿駅へ

都内主要駅から (路線図)



申し込み方法

原則として、下記のホームページからお申し込みください。なお、ホームページから申し込みができない場合は、以下の要領でFAXにてお申し込みください。

申込先URL：<http://www.javea.or.jp/soutai/ichiran.html>

(日本視聴覚教育協会ホームページ内)

大会参加費等の振込先 三井住友銀行 日比谷支店 普通預金 口座番号：8393920
口座名義：視聴覚・放送合同大会

参加費用：資料代 3,000 円(参加者全員) OB・OG 1,000 円
懇親会 3,000 円

申込上の留意点

- ・ホームページ上の例を参考に項目ごとに入力してください。
- ・申し込みは、必ずお一人ずつ入力をお願いいたします。
- ・10月16日までに申し込み及び参加費の振り込みをお願いいたします。
- ・申込後、変更が生じた場合は、電子メールやFAXでご連絡ください。

参加上の留意点

- ・宿泊先は紹介しておりません。ご自身で手配をお願いいたします。
- ・昼食は敷地内カフェテリア・レストランをご利用ください。
- ・自動車での来場はご遠慮ください。

問い合わせ先

視聴覚教育関係

(財)日本視聴覚教育協会 佐藤 正
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-19-5 虎ノ門1丁目森ビル
TEL：03-3591-2186 FAX：03-3597-0564
e-mail: taikai@javea.or.jp

放送教育関係

全国放送教育研究会連盟 若狭由起子
〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1 NHK視聴者サービス局事業センター内
TEL：03-5455-4310 FAX：03-3481-1372
e-mail: s02103-zenporen@nhk.or.jp

FAX用申込シート

申込書FAX送付先 03-3597-0564 (日本視聴覚教育協会) 申込切 10月16日(火)

ふりがな											
申込者氏名											
参加地域	都	道	府	県	郵便番号						
所在地	区 市 郡										
ふりがな											
学校名 (所属名)											
所属先Tel						所属先Fax					
e-mail											
2日目参加部会	全国放送教育研究会連盟				() 第1部会	() 第2部会	() 第3部会	() 第4部会	懇親会 ()		
					() 第5部会	() 第6部会	() 第7部会	() 第8部会			
	日本学校視聴覚教育連盟			全国視聴覚教育連盟			全国高等学校メディア教育研究協議会				
	() 第1部会 () 第2部会			() 第1部会 () 第2部会			()				